

# 脱原発・エネルギー政策の転換を！

## 医師・看護師大幅増で 地域医療の確保を！

### いのちまもる10・20国民集会

10月20日、いのちを守る国民集会が東京日比谷野外音楽堂で行われました。



昨年を上回る5、500人が参加し、集会後、横断幕を持って銀座をパレードしました。大阪自治労連からは26名、うち府職労は9名参加しました。3・11の東日本大震災は、国のあり方、安心・安全の医療とは何かを問うものでした。歌手のクミコさんの「INNO



## 大阪府は府民のいのちを切りすてるな！

### 救命救急を守る4地域・運動交流集会

大阪医療問題連絡会は、救命救急を守る4つの地域（北摂・豊能地域、中河内地域、三島地域・泉州地域）から「救命救急を守り、充実させる運動」を持ちよりの、10月22日にグリーン会館で交流集会を開催しました。

記念講演は、岩手医科大学の教職員組合副委員長の長岡宏明さんに「救命救急センターの役割と東日本大震災での取り組み」と題して講演していただきました。震災時の医療支援の中心となつた報告がありました。

大阪府は本年4月、千里



開会あいさつする大阪労連川辺議長

救命救急センター（済生会）に対して、これまで5

年間支出していた補助金（支援事業：年間3億5千万円）を廃止しました。また、泉州や中河内では救命救急センターを市に移管することが検討されています。

は、北摂・豊能地域、三島地域から住民宣伝・署名行動の報告、中河内地域では住民の会の結成報告、泉州地域からは8市1町の議会が大阪府に対しての意見書が採択されたと報告がありました。

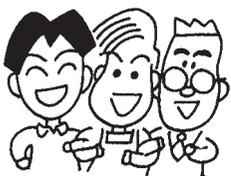
WTC移転に無駄なお金を使うのなら、その一部を使うだけで第三次救命救急は維持できる。大阪府民のいのちを守る府民的な運動をすすめることを集会参加者全員で確認しました。参加者は全体で61名、府職労からは7名が参加しました。

府職労は、10月1日から12月31日までの期間を「秋の組織拡大推進月間」と位置づけ、未加入者への府職労加入の呼びかけを集中することとしています。この間、「維新の会」が上程した「職員・教育基本2条例案」は、大阪弁護士会や日本ペンクラブが反対声明を発表しているように、もの言わぬ公務員をつくり、独裁的・強権的な府政運営を目指すものであり断固として廃案にしなければなりません。また、3月11日に発生した東日本大震災は、この間の市町村合併や民間委託化の流れのもと、自治体が災害への対策や体制が不十分であり緊急対応ができない状態を露呈しました。しかし、住民のくらし再建のため先頭に立って取り組んでいる自治体職員、の姿や支援に駆けつけた自治体職員、自治労連をはじめとした震災ボランティアに参加する組合員の姿に住民のためにいい仕事したいという自治体労働者の真の姿が現れています。

## みんなの力で安全・安心、やさしい府政を実現しよう！

### 旺盛な対話で強大な府職労をつくらう

基本条例案の撤回を訴えることも府職労への加入を訴えるときです。これまで、橋下府政と唯一真正面からたたかう府職労の拡大・強化は、庁内の良心的な職員を励まし、この間の新人事評価制度による成果主義賃金やそれに伴うハラスメントなど職場を改善する大きな力になっていきます。府民のくらしのいのち・安全と安心を守る府政、職員一人一人がやりがいを持って働ける職場こそが、私たちの願いではないでしょうか。その実現をめざし全力で奮闘する府職労に確信をもって対話を進めましょう。セット共済の拡大推進月間の取り組みとともに、この月間内に300名の組合員拡大を目標として、職員の要求実現の保障である府職労組織の強化・拡大にすべての組合員のご協力をお願いいたします。



府政の転換・職員

状況になっていきます。労働条件の改善が、看護の質を高めよりよい医療の提供につながることは言うまでもありません。